

編集後記

研究室短信

『社会学ジャーナル』44号を刊行することになりました。大学が置かれている環境が大きく変化し、紀要を刊行することはますます困難な状況になっています。

『社会学ジャーナル』は、学会誌とは異なる自由な発想や新たなものを開拓していく論考など、多様な論考を掲載できるメディアであり、オンラインでの利便性も高く、社会学研究室メンバーの研究成果の発表の場として、今後も一段と良いものにしていかなければなりません。皆様の意欲的な論考の投稿をお待ちしています。

大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻における修士論文の提出者と題目は以下の通りです。

胡 瑞「オンラインゲームのプレイヤー間の人間関係——中国におけるMMORPGを事例として」

チョ 家宝「中国におけるパラサイト・シングルの形成要因に関する研究——中国大慶市出身の若者のライフコースから」

花塚 愛佳「性暴力被害について語ることにに関する社会学的研究——当事者手記の分析から」

松山 直暉「意思決定過程における規範的秩序」

宮前健太郎「延命医療言説の変遷に関する社会学的研究——胃ろうの大衆化とその批判的言説を例に」

横沢 佳奈「部活動を通じた教師の社会化——顧問教師への聞き取りを手掛かりにして」

他専攻に御所属の先生方により、学類共通科目として、以下の授業科目をご担当いただきました。

平成30度社会学研究室の各教員の学類および大学院において開設した授業科目は以下の通りです（社会学類／大学院人文社会科学研究科）。

全 教 員＝卒業論文演習、卒業論文／国際公共政策専攻リサーチワークショップ、社会学基礎理論、国際公共政策専攻プロジェクト演習Ⅱ

五十嵐泰正＝現代社会論、社会学研究法 A、社会調査実習Ⅱ c／国際公共政策論、都市社会学Ⅰ、都市社会学演習Ⅱ、都市社会学特別演習Ⅱ

エジソン・ウラノ=Comparative Society, Social Issues in Cotemporary Japan, Public Policy, 社会学演習Ⅷ c/国際公共政策論, 国際社会政策論Ⅰ, 国際社会政策論演習Ⅱ, 国際社会政策論特別演習Ⅱ(以上, 大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻), 地域調査法Ⅱ, 公共政策論Ⅴ, ラテン・アメリカ研究演習Ⅰ-A・B(以上, 大学院人文社会科学研究科国際地域研究専攻)

奥山 敏雄=社会学入門-「繋がり」の変容を考える, 組織社会学, 社会学研究法B, 社会学演習Ⅱ c/医療社会学Ⅰ, 医療社会学演習Ⅱ, 医療社会学特別演習Ⅱ

葛山 泰央=社会学入門-「繋がり」の変容を考える, 社会学基礎論, 知識社会学, 社会学研究法B, 社会学外書講読Ⅰ, 社会学演習Ⅲ c/知識社会学Ⅰ, 知識社会学演習Ⅱ, 知識社会学特別演習Ⅱ

土井 隆義=社会統制論・犯罪社会学Ⅱ, 社会学演習Ⅶ c/逸脱行動論Ⅰ, 逸脱行動論演習Ⅱ, 逸脱行動論特別演習Ⅱ

野上 元=社会学入門-「繋がり」の変容を考える, 歴史社会学, 社会学研究法A, 社会学演習Ⅰ c/歴史社会学Ⅰ, 歴史社会学演習Ⅱ, 歴史社会学特別演習Ⅱ

黄 順姫=社会学入門-「繋がり」の変容を考える, 文化社会学, 社会学外書講読Ⅱ, 社会学演習Ⅴ c, グローバル共存・共生(全学共通, 科目担当及びコーディネーター)/教育社会学Ⅰ, 教育社会学演習Ⅲ, 教育社会学特別演習Ⅲ(以上, 大学院人文社会科学研究科), 社会調査実習(大学院教育研究科)

森 直人=社会階層論, 社会学演習Ⅸ c/労働社会学Ⅱ, 労働社会学演習Ⅱ, 労働社会学特別演習Ⅱ(以上, 大学院人文社会科学研究科), 公民教育研究法Ⅰ・Ⅱ, 社会学特講Ⅰ・Ⅱ(以上, 大学院教育研究科)

このほか, 他専攻にご所属の先生方(敬称略)により, 学類共通科目として, 以下の授業科目をご担当いただきました。

海後 宗男=メディア・コミュニケーション論

木下 太志=Population and Development(人口と開発)

清水 論=スポーツ社会学

金子 史弥=スポーツ社会学

下竹 亮志=スポーツ社会学

白戸健一郎=情報文化概論Ⅱ

仲田 誠=情報文化概論Ⅰ

福原 直樹=ジャーナリズム論Ⅰ・Ⅱ, ジャーナリズム特別演習

前川 啓治 = 文化・開発論

今年度非常勤講師として、以下の先生方（敬称略）にご出講いただきました。
篤くお礼申し上げます。

樽川 典子 = ジェンダー社会論

宮内 泰介（明治学院大学） = 環境社会学

[以上，社会学類]

石岡 丈昇（北海道大学） = 社会調査方法論Ⅱ

樽川 典子 = ジェンダー社会論

[以上，大学院人文社会科学研究科]

『社会学ジャーナル』投稿規定

〔2018年2月改正〕

- 1 筑波大学大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻所属の教員及び大学院生等は、『社会学ジャーナル』（以下「本紀要」という。）に論文等を投稿することができる。大学院生等による投稿については、原則として、修士論文審査に合格していることを要件とする。
- 2 投稿される論文等は、未発表のものに限る。他の学術雑誌等に投稿中の論文は、本紀要に投稿することができない。
- 3 本紀要に掲載された論文は、筑波大学電子図書館（つくばリポジトリ）において公開するものとする。
- 4 掲載原稿は、研究論文、研究ノート、講義ノート、資料紹介、書評論文、書評とする。その他については、本紀要の編集委員会が決定する。
- 5 編集委員会は、本専攻所属の教員等に対して、論文その他の投稿を依頼することができる。
- 6 使用言語は、原則として、日本語又は英語とする。その他については、編集委員会が決定する。
- 7 外国語による執筆を希望する場合には、投稿者は、自己の責任において、当該言語を母国語とする者による言語上の校正を受けた上で、投稿することができる。
- 8 投稿原稿が日本語の場合には、欧文（英文）タイトルを付すること。
- 9 研究論文及び研究ノートについては、冒頭に英文の要約（200字程度）を含めること。
- 10 投稿原稿は完成原稿とし、編集委員会あてにハードコピーを3部及び研究倫理についての所定の様式誓約書を1部提出すること。併せて、同委員会あてに電子ファイルを送信すること。
- 11 本紀要は、研究論文及び研究ノートについて原則的に、レフェリー2名による査読を実施する。大学院生による投稿については、草稿が投稿に足る水準に達しているか否かを指導教員が確認し、所定の用紙に署名・押印したうえで、投稿原稿に添えて期日までに編集委員会に提出する。掲載可否は編集委員会が決定する。
- 12 執筆者には論文等の抜刷を50部配布し、それ以上の抜き刷りを必要とする場合は、実費を徴収する。

その他不明な諸点については、下記の編集委員会にお問い合わせください